

安全データシート

1 [化学物質及び会社情報]

会社名 : ハルツォク・ジャパン株式会社
住所 : 〒170-0003
東京都豊島区駒込2-3-7
担当部門 : メタログラフィ営業部
電話番号 : 03-5907-1774
FAX番号 : 03-5907-1770
作成日 : 2007年4月14日
改訂日 : 2023年3月24日

製品名

ダイヤモンドペースト(水性) PP・PS・PNシリーズ

2 [危険有害性の要約]

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない
健康に対する有害性 : 皮膚腐食性/刺激性: 区分3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分2B
急性毒性: 経口: 区分5
生殖毒性: 区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分1 (中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 区分1 (中枢神経系、心臓、呼吸器)
環境に対する有害性 : 水性環境有害性(急性): 区分3

GHSラベル要素



注意喚起語 危険有害性情報

危険
軽度の皮膚刺激性
眼刺激
飲み込むと有害のおそれ
生殖能または胎児への悪影響の恐れ
臓器の障害(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)
長期または反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、心臓、呼吸器)
水生生物に有害

注意書き

[安全対策]
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
[応急処置]
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
して容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
[保管]
施錠して保管すること
[廃棄]
内容物/容器を適切な焼却炉で焼却するか、都道府県知事の許可を受けた
専門の処理業者に委託処理する。

上記記載がない危険有害性は区分に該当しない

3 [成分及び成分情報]

| | | | |
|-----------------|--|------------|------------|
| 単一製品・混合物の区別 | : 混合物(ダイヤモンドを混入した水性ペースト) | | |
| 薬品名 | 化学式 | 含有量(%) | CAS No. |
| エチレングリコール | HOCH ₂ CH ₂ OH | 10-25 | 107-21-1 |
| 官報公示整理番号: 2-230 | 国連分類: 非該当 | 国連番号: 該当無し | |
| ポリエチレングリコール | H(OCH ₂ CH ₂) _n OH | 60-70 | 25322-68-3 |
| 官報公示整理番号: 7-129 | 国連分類: 非該当 | 国連番号: 該当無し | |
| ダイヤモンド | C | 5-15 | 7782-40-3 |
| 官報公示整理番号: 該当無し | 国連分類: 非該当 | 国連番号: 該当無し | |

4 [応急処置]

| | |
|-----------|---|
| 皮膚に付着した場合 | : 乾いた布等で拭き取った後、石鹸水でよく洗う。湿疹などの皮膚炎を発生した場合は、この指示書を持参して医師の診断を受ける。 |
| 目に入った場合 | : 直ちに流水で最低15分間は洗浄し、炎症や刺激感が残るようであれば医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 本製品の形状により起こりえないが、万が一飲み込んだ場合は、口の中に残ったものは取り除き、直ちに医師の診断を受ける。 |

5 [火災時の措置]

| | |
|------|--|
| 消火方法 | : 本品はポリエーテル主成分とし、副成分にグリコールを使用している。従って火気が近くに無い通常の使用状態では、火災等の危険性は殆ど無い。本品が火災を発生した場合、有毒なガス(一酸化炭素など)が発生するため、消火作業の際には吸い込まないように適切な保護具を着用する。 |
|------|--|

6 [漏出時の措置]

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。漏出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。漏出した製品はウエスや土砂などに混ぜて吸着させて空容器に回収し、そのあとを大量の水を用いて洗い流す。

7 [取り扱い及び保管上の注意]

| | |
|------|--|
| 取り扱い | : 火気に注意し、高温物、スパーク、強酸化剤との接触を避ける。眼と、長時間及び繰り返し皮膚への接触を避け、取扱後の手洗い励行。ミストや飛沫が飛散する場合があるので保護眼鏡を着用する。皮膚への付着を防ぐため、皮膚の露出部は最小限にする。誤飲しない。誤飲した場合は、医師の指示に従う。 |
| 保管 | : 室温を維持できる場所で、密栓状態で保管する。 |

8 [暴露防止措置]

| | |
|------|---|
| 管理濃度 | : 設定されていない |
| 許容濃度 | : 設定されていない |
| 設備対策 | : 設定されていない |
| 保護具 | : 飛散のおそれのある場合は、保護長靴、保護手袋、眼鏡、または顔面保護のフェイスマスクなどを着用する。 |

9 [物理/化学的性質]

| | |
|-------|---------------|
| 外観等 | : 灰白色～黒色のペースト |
| 沸点 | : データ無し |
| 融点 | : データ無し |
| 蒸気圧 | : データ無し |
| 比重 | : 1.16 (20℃) |
| PH | : データ無し |
| 溶解度 水 | : 水溶性 データ無し |

10 [危険性情報(安定性・反応性)]

| | |
|-----------|--|
| 引火性 | : 該当しない |
| 可燃性 | : 該当しない |
| 発火性 | : 該当しない |
| 酸化性 | : 該当しない |
| 自己反応性・爆発性 | : 該当しない |
| 粉塵爆発性 | : 該当しない |
| 安定性・反応性 | : 安定。 |
| その他 | : 強酸化剤との接触により発火し、一酸化炭素等の有害ガスが発生する可能性が有る。 |

11 [有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)]

| | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 刺激性(皮膚、眼) | :眼刺激及び弱い皮膚刺激。 |
| 感作性 | :知見なし |
| 急性毒性(50%致死量等を含む) | :ラット 経口 LD50=4,000 mg (エチレングリコールとして) |
| 亜急性毒性 | :知見なし |
| 慢性毒性 | :知見なし |
| がん原性 | :知見なし |
| 変異原性(微生物、染色体異常) | :知見なし |
| 生殖毒性 | :生殖能または胎児への悪影響の恐れ |
| 催奇形性 | :知見なし |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | :中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器への障害(エチレングリコールとして) |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | :中枢神経系、心臓、呼吸器への障害(エチレングリコールとして) |
| その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) | :なし |

12 [環境影響情報]

| | |
|-----|--|
| 分解性 | :知見なし |
| 蓄積性 | :知見なし |
| 魚毒性 | :ニジマス LC50 47,000 μ g/L/96h (エチレングリコールとして) |

13 [廃棄上の注意]

スクラパーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。
少量の場合はウエスやおがくずなどに吸着させて開放型の焼却炉で焼却する。
これを含む排水は活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

14 [輸送上の注意]

:運搬に際しては容器に漏れがないことを確認し、転倒、落下、衝撃など
損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 [適用法令]

危険物第4類第3石油類(水溶性)危険等級3(エチレングリコールとして)
労働安全衛生法:名称等を通知すべき有害物(エチレングリコールとして)
海洋汚染及び海上災害の防止に関する規則 有害液体物質Y類物質(エチレングリコールとして)
船舶安全法:非該当
航空法:非該当
PRTR法:非該当
毒物及び劇物取締法:非該当

16 [その他(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)]

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載の注意事項は通常取り扱いを対象とした情報提供であり必ずしも安全性を保証するものではありませんので、特殊な取り扱いの場合には当方へご相談下さい。